

科目番号	53021	分類	専門科目 応用看護学領域	履修者	看護科学コース 看護教育・研究者プログラム	学年	1
科目名	地域保健学特論Ⅰ (Advanced Course in Community Nursing I)					1	
						配当シスター 前期	
担当者	○岸 恵美子 他1名	区分	選択	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標				学位授与の方針との関連			
【概要】 地域保健の概念・諸理論を踏まえ、地域で生活する人々を対象とした地域保健に関わる制度や社会資源、健康に関わる環境等の情報を分析し、個人・家族・集団・地域を単位とした課題を解決するための展開方法を理解する。地域保健サービスの現状および将来展望から自己の課題を検討し、国内外の文献を活用しながら地域保健の発展に有用な実践、研究、教育の能力を講義と討議により養う。 【目標】 1) 地域保健の概念・諸理論、制度や社会資源、健康に関わる環境などさまざまな要因等の情報を分析する方法を理解し、地域保健の現状と課題を実践、研究、教育の視点から考察し、自己の課題を明確化する。 2) 地域保健活動における地域の健康課題、看護職の役割と実践、関係機関・職種との連携や協働の方法、ネットワークと地域包括ケアシステムについて理解する。 3) 地域の健康課題を解決するための関係職種および住民との協働によるサービスの計画・実施・評価の方法、および研究方法について学ぶ。				○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力	○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
				○	3. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力	○	4. 実践を行いつつながら学部学生の臨床実習指導、新人看護職の現職教育、生涯教育・卒後教育への支援や指導ができる能力
授業計画							
回	内容						担当教員
第1回	世界および日本の健康課題や健康格差について検討する。プライマリヘルスケア（PHC）ヘルスプロモーションなど健康課題に対する取り組みを理解する。						岸 他1名
第2回	日本における健康課題の事象を取り上げ、課題解決方法について発表・討議する。						
第3回	プリシード・プロシードモデルについて概説する。						
第4回	臨床や地域保健の場で専門職連携実践（interprofessional work;以下 IPW）が必要とされる背景・要因について、国際的動向を踏まえながら概説する。						
第5回	多職種連携教育（interprofessional Education; 以下 IPE）の現状について概説する。						
第6回	これまで受けてきた IPE が現在の看護実践や IPW 等に与えている影響について発表・討議する。						
第7回	多職種連携コンピテンシー（能力）など、中心的な概念について先行研究および事例に基づきながら検討・考察する。						
第8・9回	ハイリスクおよび困難事例の実際を通して、多職種連携の在り方を検討・考察する。						
第10・11回	介護保険下における地域包括ケアシステムの現状と課題を地域保健の視点で検討・考察し、発表・討議する。						
第12・13回	地域の健康課題を解決するための住民との協働について事例に基づきながら検討・考察し発表・討議する。						
第14回	行政サービスの計画・実施・評価の方法について概説する。						
第15回	地域保健領域における看護職の機能と役割について検討・考察する。						
事前・事後学習	事前学習： 学習内容に関係する時事問題等について、新聞・インターネット・文献で調べておく 事後学習： 学習内容を振り返り、自分の生活や仕事への活用について検討する						
評価の方法	参加状況（プレゼンテーション・討論）50%、レポート50%で総合的に評価する。フィードバックはプレゼンテーション時の総評とする。						
参考図書・資料等	適宜紹介する。						
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。						